進路だより

札幌市立月寒中学校
第３学年　進路係
№47
2026.11.26 発行

「夢をかなえるために」を配付します！



本日、「夢をかなえるために」という冊子を配付しました。これは豊平区・清田区の進路指導主事会が作成しているもので、今後の進路予定、面接試験について、試験前日の準備、試験当日の注意点、合格答案への道などが書いてあります。よく読んで、受検に備えてください。

本日の6時間目の授業では、面接のビデオを見ます。これから12月いっぱいまでは、私立の単願・専願の生徒の面接練習を行います。今年は私立を第一希望にする生徒が多く、人数が多い分、一人一人に割ける練習時間は限られてきます。入室・退室のマナーは、Ｐ５を見て、身に付けておいてください。Ｐ４の「よくされる質問例」Ｐ６～Ｐ９の各学校の質問例を見て、しっかり答えられるように練習してきてください。

公立の自己推薦生徒の面接練習は、冬休み後から2月８日までです。まだ期間はありますが、3学期になって慌てないように今から備えておきましょう。公立の一般受検で面接のある学校（Ｐ１０参照）を志望している生徒は、2月８日以降に練習を開始します。同様に、内容を考えておきましょう。

※ポイントをいくつか押さえておきましょう。

①学校が求める生徒像（スクール・ポリシーなど）に、いかに自分が当てはまっているかを述べる。（志望理由）

「例：私が貴校へ入学したいと思ったきっかけの一つは、スクール・ポリシーにもある『世界に通用する〇〇』に共感したことです。自分の夢は、得意とする語学力を生かし、青年海外協力隊の一員として国際社会のために貢献することです。貴校は海外研修や留学なども充実しており、夢を実現できる最良の環境であると感じました。」

②自分がやりたいことや目標が、その学校の活動によってかなうことを強調する。（志望理由）

「例：私の夢は大学の経済学部に進学し、卒業後は公認会計士や税理士、会計コンサルタントなど経済に関する仕事に就くことです。その夢を実現するためには、在学中に経済に関する専門的な学習を学ぶことができ、さらにビジネス計算実務検定や簿記実務検定などの資格を取得できる貴校は理想の学校だと思い、入学を志望するに至りました。」

③学校説明会で感じたこと、良い印象を述べる。（志望理由）

「例：〇月に参加した貴校の学校説明会では、部活の見学をしていた際、先輩たちが生き生きと活動について説明してくださったり、受検の心配事に親身に相談に乗ってくださったおかげで、明るく爽やかな気持ちになりました。『私もこの学校で学びたい。』と強く思うようになりました。」

④ただ単に「〇〇委員をやりました。」「学校祭が楽しかった。」だけではなく、具体的なエピソードや成長できたことを交えて答える。（中学で頑張ってきたこと、高校で頑張りたいこと）

「例：生徒会活動では、３年前期で務めた学級代表が最も印象に残っています。初めての代表でしたが、修学旅行という大きな行事を成功させる一助になれたことは、大きな自信となりました。高校でも、同様の活動ができたらと思います。」

「例２：特に努力したのは、３年前期での生活委員会の活動です。ベル席の状況がよくなかったので呼びかけをしましたが、最初はなかなか向上しませんでした。一人では無理と考え、係に協力を

求めたところ、目標を達成することができました。一人で頑張るのではなく、仲間との協力と組織を動かす大切さに気付きました。そのため、生活委員の活動が思い出に残っています。」



「例３：一番心に残っているのは、学校祭のパフォーマンス部門で役者を担当したことです。私は『〇〇〇〇』というタイトルの劇で〇〇の役を演じました。人前に出で演技するのは慣れていませんでしたが、リーダーを中心に楽しく活動することができました。ステージを終えたとき、多くの仲間に『よかったよ。』と声をかけてもらい、とても達成感を感じました。高校の学校祭でも、ステージ活動に挑戦したいです。」

「例４：私は３年間 〇〇部に所属しており、部活では仲間とともに大会の上位入賞を目指して日々練習をしてきました。 大会の上位入賞することはできませんでしたが、仲間と協力し合い練習をすることで物事を諦めないことの大切さを学ぶことができました。高校でも、〇〇部で中学で果たせなかった目標に向け、頑張りたいです。」

⑤長所・短所も、具体的なエピソードを交えて。長所で褒められたこと、短所はどう改善しようと努力しているのか。（長所・短所）
「例：長所は自分では思っていませんでしたが、先生から『気が利くね』と言われたことがあります。給食当番の動きが遅かったので、早く食べたい一心で手伝っていたのですが、先生に褒められたのはとても嬉しかったです。その反面、他人に流されやすいところがあるので、自分の意思をはっきりもって主張すべき場面では堂々と主張できるように意識しています。」

⑥得意教科と不得意教科については、単に科目名だけ答えるのではなく、その理由と内容を具体的に話す。不得意教科については、どうやって克服しようと考えているのかなどを話す。
「例：得意な教科は英語です。試験で高得点をとることよりも、会話を中心とした『コミュニケーション能力』を身に付けることを心掛け、取り組んできました。授業以外の場面でも積極的にALTの先生とコミュニケーションを図ったので、簡単な日常会話ならこなせるようになりました。苦手科目は社会です。特に年代などの暗記が苦手でしたが、暗記カードを作成して毎日少しずつ覚えるように工夫しました。その結果、苦手を少し克服することができました。」

※皆さんの頑張りに期待しています！

第５回進路希望調査を終えて

第５回進路希望調査が終わりました。御協力、ありがとうございました。

希望調査で多かったのは、「今の実力で合格できるかどうか。」と、不安視する声です。多くは公立高校を第一志望にしている生徒達ですが、公立受検まではあと3か月あまりあります。ここからの3か月で、大きく実力を伸ばした生徒は、これまでにたくさんいます。大切なのは、計画的は努力の継続です。焦らずに日々の小さな努力を積み重ね、必要に応じてやり方を改善していくことで、着実に結果へとつなげて行きましょう。

＜第５回進路希望調査、内訳＞

	全日制公立	定時制公立	私立高校	国立高専	通信制
受検(験)希望者総数	132（道 102市 30）	6	256	3	7
第一希望者総数	121	5	47	2	7

※希望調査で、単願を希望しながら複数校の受験校を記入している生徒がいました。単願受験の場合、原則その学校しか出願できませんので、お気をつけください。